



福岡医発第843号(地)
平成21年7月30日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 横倉 義武
(公 印 省 略)

「サクシン注射液」から「スキサメトニウム注」への販売名変更について

標記の件につきまして、日本医師会より別紙のとおり周知方依頼がありましたのでご連絡申し上げます。

さて、筋弛緩剤の「サクシン」は、副腎皮質ホルモン剤の「サクシゾン」と名称が類似していることから、平成20年11月には誤処方による死亡事故が発生したため、平成20年12月27日付け福岡医発第2041号(地)にて「医薬品の販売名の類似性等による医療事故防止対策の強化・徹底について(注意喚起)」において医療安全対策に係る周知徹底をお願いしていたところであります。

本件は、「サクシン注射液」の製造販売元であるアステラス製薬株式会社において医療事故防止策について検討が行われ、今般、別添のとおり、「サクシン注射液」の販売名を「スキサメトニウム注」に変更した旨をお知らせするものであります。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただきますとともに、貴会会員への周知方につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

学術担当理事 永田正和
会長 丸山 泉

(法安 17) F

平成 21 年 7 月 22 日

都道府県医師会
医療安全担当理事殿

日本医師会常任理事

木下 勝



「サクシン注射液」から「スキサメトニウム注」への販売名変更について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて平成20年11月、ヒドロコルチゾン製剤「サクシゾン」と筋弛緩剤「サクシン」を誤って投与したことによる死亡事故が発生したことから、同年12月19日付け日医発第931号（医安72）「医薬品の販売名の類似性等による医療事故防止対策の強化・徹底について（注意喚起）」において医療安全対策に係る周知徹底をお願いいたしました。

今般アステラス製薬株式会社が別添の通り「サクシン注射液」の販売名を「スキサメトニウム注」に変更する旨ご連絡いたします。同社は現在、安全対策としての情報伝達を実施しているところですが、発売に関する連絡は8月上旬よりあらためて実施するとのことであり、発売時期は8月下旬とのことです。

なお名称の類似が指摘されている薬剤はまだ存在しておりますので、これまで通り医療安全対策について貴管下会員に周知徹底いただきます様宜しく願い申し上げます。





— 医薬品安全管理責任者・医療従事者の方へ —

「サクシン注射液」から「スキサメトニウム注」への 販売名変更のお知らせ

毒薬、処方せん医薬品

(注意—医師等の処方せんにより使用すること) 筋弛緩剤

日本薬局方 スキサメトニウム塩化物注射液

スキサメトニウム注20「AS」

スキサメトニウム注40「AS」

スキサメトニウム注100「AS」

2009年 7 月

アステラス製薬株式会社

このたび、弊社の「サクシン注射液」につきまして、「スキサメトニウム注」に販売名を変更致しますので、お知らせ申し上げます。

【変更内容】

旧 販 売 名		新 販 売 名
サクシン注射液 20mg	⇒	スキサメトニウム注 20「AS」
サクシン注射液 40mg	⇒	スキサメトニウム注 40「AS」
サクシン注射液 100mg	⇒	スキサメトニウム注 100「AS」

【変更理由】

旧販売名のサクシンは、副腎皮質ホルモン剤であるサクシゾンと名称が類似しているため、誤処方による事故が発生しておりました。そこで、弊社では、医療事故防止策について検討を行い、関係団体とも相談の上、販売名を一般名を用いた「スキサメトニウム注」に変更すべく、販売名変更代替新規承認申請を行い、今般承認を受けました。なお、組成・性状、効能・効果、用法・用量、使用上の注意につきましては、従来の製品から変更はございません。

新販売名製品の出荷は、2009年8月下旬を予定しております。

新販売名製品がお手元に届くまでに若干の日数を要しますことをご了承くださいますようお願い申し上げます。

製造販売

アステラス製薬株式会社

東京都板橋区遠根3丁目17番1号

'09-No.22

SC036003Z02